

## c3 民間施設を活用し、避難場所を確保

地区と民間事業者との協定締結を支援し、避難場所の確保に努めた

### ・地区と民間事業者との災害時応援協定の締結

地震や洪水等の大規模災害時において、立体駐車場及び店舗の一部を避難場所として地区住民へ提供する協定を中藤島地区自主防災組織連絡協議会、大和田自治会と協同組合福井ショッピングモールとで締結した。

令和3年度は、上記を合わせて計6件の地区と民間事業者との協定締結を支援した。

### <令和3年度の協定締結状況(公表可のみ記載)>

・酒生地区自主防災組織連絡協議会  
(大一印刷株式会社) R3.5.25締結

・福南団地自治会  
(創価学会) R3.7.29締結

・中藤島地区自主防災組織連絡協議会  
(協同組合福井ショッピングモール) R3.12.18締結

・大和田自治会  
(協同組合福井ショッピングモール) R3.12.18締結



中藤島地区自主防災組織連絡協議会、大和田自治会と協同組合福井ショッピングモールとの協定締結式 R3.12.18

# k. 洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実

敦賀市

## k1 庁舎受電設備・非常用発電設備等の浸水対策

非常用発電設備を5階に設置し、洪水時の庁舎機能確保の対策を行った

【敦賀市役所 新庁舎】

- ・令和3年11月21日 竣工式
  - ・令和4年 1月 4日 供用開始
- 【消防庁舎との合築】

市庁舎  
・免震構造 [RC造5階建]

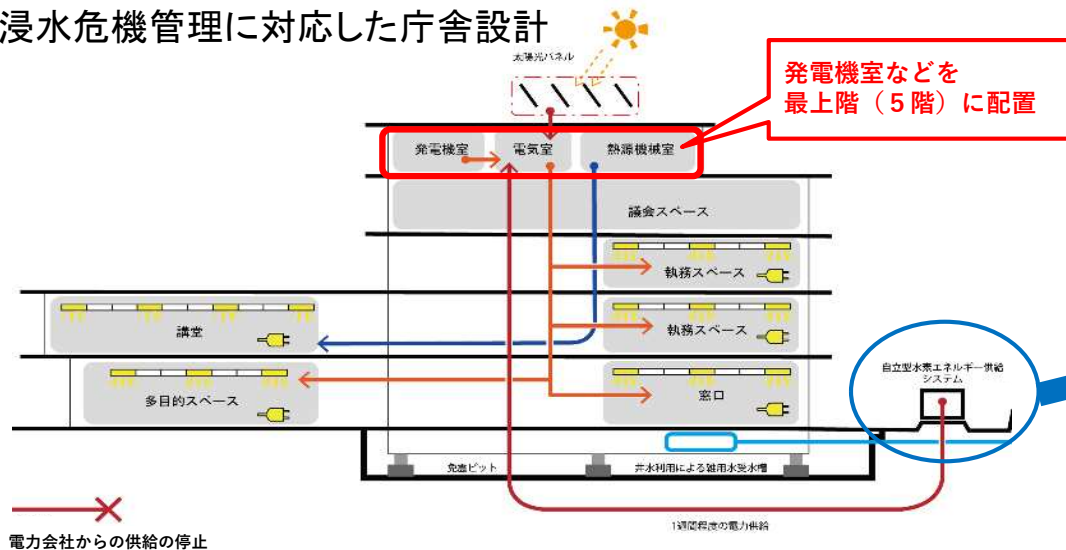
消防庁舎  
・耐震構造 [鉄骨造2階建]



※市庁舎（免震）と消防庁舎（耐震）を制震ダンパーで連結する「連結制震構造」を採用



## 浸水危機管理に対応した庁舎設計



## 自立型水素エネルギー供給システム



地域防災マップの作成を希望した市内6地区を対象に作成支援を実施しました。

取り組み事例  
(春日三丁目上区自主防災組織)



マップ作成希望地区の代表者を対象に説明会を実施しました。説明会では、マップの必要性や作成に係るスケジュールを説明しました。



住民で集まり、地区内の危険箇所等について、リストアップしました。



住民でリストアップした内容をもとに、実際にまち歩きを行い確認しました。



住民によるリストアップ、まち歩きによる確認事項をまとめてマップを作成しました。

令和4年度は、地域防災マップの普及を目指して作成支援を行います。

# d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

## j. 水防体制の強化

あわら市

d1 地域住民への出前講習の実施(あわら市消防学校 R3.12.12)

j1 あわら市防災士の会と共催で避難所設営・受入訓練を実施

1時間目 ~講義「北潟地区における防災の脅威と避難所設営について」~



本講習には、市職員、あわら市防災士の会、日赤奉仕団あわら支部、北潟地区の民生委員、北潟地区住民等、あわせて50名以上の方にご参加いただきました。

1時間目の講義では、あわら市防災安全対策室 危機対策専門員が講師となり、会場である北潟地区の災害の脅威や避難所の設営方法について講義を行いました。

2時間目 ~実技「北潟小学校避難所設営について」~



4人家族用

1人から対応する  
フレックスゾーン

←生活スペースと  
なるブルーシート  
の貼り付け



←発熱者スペースの設置

3時間目 ~実技「避難者受け入れ訓練」~



←地元の方に受付を  
お願いし、防災士の会  
メンバーが避難者役と  
なり受け入れ訓練開始



←受付済の避難者を  
避難スペースへ誘導

## c. ハザードマップの作成・周知等

## d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

越前市

- c3 想定最大規模の降雨を想定したハザードマップへの更新・周知
- c4 これまでの浸水箇所への周知
- d1 小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展の実施

### ●越前市洪水ハザードマップの特徴

- 市民参加によるワークショップを開催  
(計6回141名参加)
- 増加する外国人市民への防災意識の啓発  
(ポルトガル語など4か国語版の作成)
- バーチャル・リアリティの浸水動画を独自で追加制作  
マップや市HP上のQRコードで視聴



多言語版ハザードマップ

### ●洪水ハザードマップの認知度向上への取組み

- 市民への全戸配布(外国人世帯含む)
- 市政出前講座、地区防災研修会で周知・啓発
- マイ・タイムラインの作成啓発と支援
- 外国人市民防災リーダー研修会の教材で使用
- 小中高生、大学生への防災教育で活用



浸水を想定したVR動画

## j3. 訓練・体制強化

坂井市総合防災情報システムを活用した職員の参集・被害状況報告訓練を行いました。

## j1. 水防資材備蓄確認

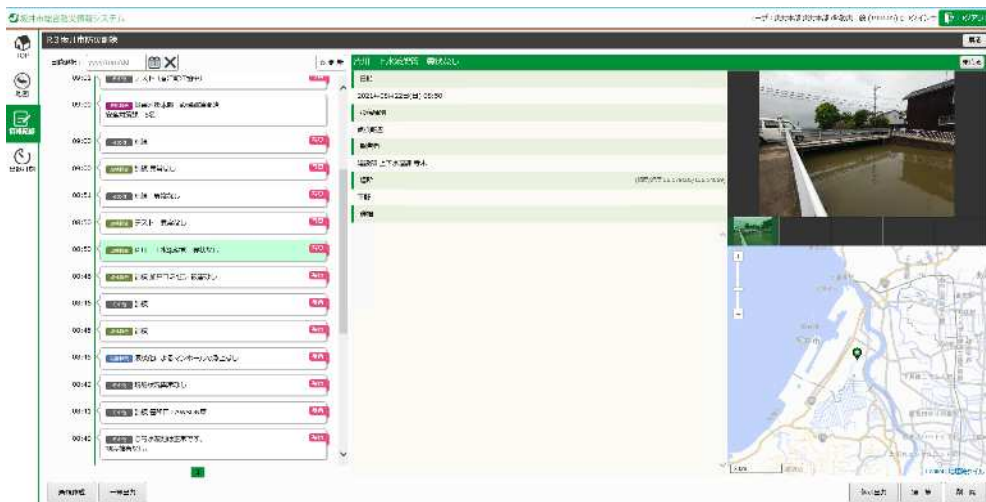
出水期に向けた水防施設・水防資材の備蓄状態と河川パトロール体制の確認を行いました。

(j3) 令和2年度に整備した坂井市総合防災情報システムを活用し、職員の参集・被害状況報告訓練を行いました。  
(令和3年8月22日実施)

### 【主な訓練内容】

- ①システムで職員のスマートフォン等に参集メールを一齐送信
- ②システムで参集の可否を報告
- ③スマートフォン等で周辺の状況を撮影し、システムで報告
- ④システムで参集・解散時刻の報告

※坂井市総合防災情報システムは、庁舎外からモバイル端末等で接続・使用可能なクラウドサービス



(j1) 建設、防災及び消防の職員が水防資材の備蓄状態と河川パトロール体制の確認を行いました。  
(令和3年5月24日実施)



## b. 要配慮者利用施設における避難訓練の実施

永平寺町

b8 福祉避難所において避難所生活を想定した避難訓練を実施。

【目的】要配慮者が安心・安全に福祉避難所で生活を送ることができること

- ・災害急性期の福祉避難所での1日の生活を知る。
- ・福祉避難所で他者との関わりを通じて避難所の中での助け合いについて知る。

### 【地域のみんなで助け合う避難訓練】

#### ○参加人数

・要配慮者37名 ・支援者36名 ・福井大学、防災福祉部局19名 合計92名

#### ○訓練内容

福祉避難所での1日の避難所生活を体験する(起床～就寝)

訓練終了後、要配慮者、支援者や各ブースでフィードバックを行い、それぞれの立場からの意見交換を行った。

部屋の名称を「花」の名前としたり、レクリエーションとして物づくりやマッサージを取り入れ、過酷な避難所生活の中にも「癒し」を意識した。

一日のスケジュール		
実際の時間	仮想の時間	行うこと
10:25	7:00	起床
10:30	8:00	朝食・服薬・歯磨き
	8:30	換気・手洗い
	9:00	健康観察
11:00	10:00	ラジオ体操 換気
	12:00	昼食 換気・手洗い
11:30	14:00	レクリエーション 換気・手洗い
	18:00	夕食 換気・手洗い
	20:00	イブニングケア
	21:00	消灯



避難後の生活



健康観察



ラジオ体操



レクリエーション

# ご近助防災計画の作成・更新

## j3 ①町内全集落において、ご近助防災計画の作成

- ・世帯員名簿の作成
- ・ご近助防災マップの作成



①②によって、要配慮者の可視化が可能。  
行政が把握していない、集落の情報も吸い上げが可能。

## ②民生委員による個別避難計画の作成

- ・現在、努力義務となっている個別避難計画の作成を民生委員に依頼。
- ・①で作成したものと、個別避難計画により実情にあった内容となっている。

### 世帯員名簿のイメージ

世帯 No. 5 世帯員名簿						
世帯主：池田 太郎 屋号：やくば 住所：池田町稲荷 35-4 世帯員総数：5名						
世帯員氏名	生年月日	性別	緊急時電話番号	支援必要者	備考	
池田 太郎	S20.5.5	男	0778-44-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ( )	歩行時に杖を使用	
池田 花子	S25.3.3	女	090-XXXX-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ( )		
池田 一郎	S49.7.7	男	090-XXXX-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ( )		
池田 冬子	S53.5.15	女	080-XXXX-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ( )		
池田 タカシ	R1.12.25	男	0778-44-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ( )		

### ご近助防災マップのイメージ



## ①世帯員名簿 + ご近助防災マップ

⇒ご近助防災計画

※区長と防災隊長を中心に毎年更新。

### 【世帯員名簿】

各世帯情報が掲載されている名簿  
→氏名、生年月日、要支援内容 等

### 【ご近助防災マップ】

世帯員名簿を基にマーキング等された住宅地図  
→状況に応じて、色分けをしている。

## ②民生委員による個別避難計画の作成

- ・地域の実情を知る民生委員が個別避難計画を作成。  
→家族の連絡先、ご近所の連絡先、かかりつけ医、普段いる部屋等を記載。
- ・毎年更新を実施。



c3 想定最大規模の降雨を対象としてハザードマップの更新・周知  
県管理河川の洪水浸水想定区域の公表を受け、想定最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップに更新を行い、町広報誌及び町のHPで周知を図った

【広報南えちぜん令和4年5月号】

## ハザードマップの更新について

令和元・2年度において福井県が新たな基準による浸水想定の見直しを行ったため、それを基に、令和元年にお配りした洪水ハザードマップを更新しました。このマップは、水防法で定められた「想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)」の条件で作成し、およそ1,000年に1回程度起こる降雨条件となっています。



また、県において最大クラスの津波が発生した場合に想定される津波浸水想定図を公表し、この結果を踏まえ、津波が発生した際に、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域の津波災害を防止するため「津波災害警戒区域」の指定を行うこととしたため、「津波ハザードマップ」も更新しました。

更新したハザードマップは南越前町のホームページ

<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/bousai/201/p003890.html>

よりダウンロードできます。

ハザードマップにより自宅付近の危険な状況を確認し、必要な避難行動や避難場所、避難経路や非常持ち出し品などを確認しておきましょう。

■問合せ 総務課防災安全室 Tel 0778-47-8016



更新後のハザードマップ  
(南越前町HPよりダウンロード可能)



介護予防サポータースキルアップセミナーの場にてハザードマップについて説明(R4.3)

# a. 避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

越前町

## a1 避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成

令和3年7月29日の大雨の際、避難情報等に着目したタイムラインを活用し、避難情報（避難指示）を発令しました。

【丹生郡越前町 上糸生 地係】

【避難情報等に着目したタイムライン】



判断基準(天王川水位)	情報の種類
はん濫注意水位(3.0m)	高齢者等避難
<b>避難判断水位 (3.5m)</b>	<b>避難指示</b>
はん濫危険水位(4.2m)	緊急安全確保

7/29の気象警報等

6:12 大雨(土砂災害)警報

7:19 大雨(浸水害)警報

7:45 土砂災害警戒情報

8:01 洪水警報

8:31 記録的短時間大雨情報

約2時間

土砂災害警戒情報及び記録的短時間大雨情報が発表され、天王川の水位が避難判断水位に達すると見込まれたため、午前8時50分に被害想定区域(3,090世帯、8,901人)に避難指示を発令しました。

## j 3 自主防災組織の活用・強化

地域住民が協力して「自分たちのまちは自分たちで守る」の考えのもと、様々な防災・減災活動を行う自主防災組織を推進し、自主防災活動に要する経費の一部を補助する。

【補助対象経費】 防災資機材整備、防災訓練、防災研修、防災リーダー育成等に係る経費。

【補助率】 防災資機材整備 10/10 (上限20万円 世帯数により変動)

防災訓練活動 10/10 (上限5万円 世帯数により変動)

防災研修活動 1/2 (上限5万円)

## j 4 水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

出水期を前に、消防団、消防職員、町職員をはじめ、自主防災会も含めた水防訓練を実施した。消防団や町職員の災害時における対応スキル向上は勿論のこと、管内の自主防災会においても自立した防災機能を身に付け、地域に応じた避難行動、救助活動が行えるよう実施した。



令和3年度水防訓練の様子（青郷地区）

## d1 防災教室の実施

- ① 町内の各小学校の児童に対し、防災専門員による防災に関する勉強会
- ② 防災資機材(ワンタッチパーテーションと簡易ベッド)の設営及び設置体験

[ 勉強会の様子 ]



[ 防災資機材の設営説明の様子 ]



[ 防災資機材の設営体験の様子 ]



## j4 水防訓練の実施による連絡体制の強化確認

消防職員、消防団員、赤十字奉仕団、建設業会、住民、職員による水防訓練を実施し、水防工法の知識及び技術を習得した《R3.6.12 約185名参加》

・台風、集中豪雨、洪水等による被害を軽減し、水災から町民の生命、身体、財産を守ることを目的として、次の各種工法訓練等を行いました。

- ①土のう作成、②積土のう訓練、③改良積土のう工法Ⅱ型、④大型積土のう工法、⑤マンホール噴出防止工法、⑥住宅浸水防止工法、⑦炊き出し訓練、⑧河川監視パトロール訓練、⑨排水ポンプの展示



②積土のう訓練



④大型積土のう訓練



⑤マンホール噴出防止工法



⑥住宅浸水防止工法



⑦炊き出し訓練



⑧河川監視パトロール訓練

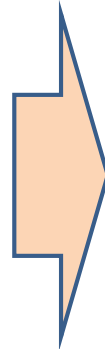
# 地域における防災マップ作りの推進

鯖江市

地域に住む住民自身が地域の防災情報を共有して、災害時には冷静に素早く避難ができるように備えることが大切であることから、鯖江市では住民が地域における災害リスクを正しく理解し適切に避難するため、地域防災マップの普及を図りました。



想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図(ハザードマップ)を作成(令和3年5月に全戸配布)



市内の防災士で構成する「防災士ネットワークさばえ」の協力のもと推進

- ・地域住民を集めた防災マップ作りの作成手順(全4回)
  - ①地域における防災マップづくりの必要性の事前説明
  - ②危険箇所を全員で考え、地図に反映し「防災マップ」案作成
  - ③「防災マップ」案を使用して現地での検証(まち歩き)
  - ④現地での検証を終えた後の修正を行い完成

## 令和3年度中に作成した地域

中河地区

片上地区

北中山地区

住吉町3丁目

定次町

小泉町



【ワークショップの風景】



【まち歩きの体験】



【地域防災マップ】

- ・作成完了した地域防災マップは町内全戸に配布し、適切に避難行動ができるよう備える。
- ・市町の努力義務となった個別避難計画作成のための元資料として活用も可能。
- ・市内全町内において地域防災マップの作成を目指す。

## R3 水防活動の取組

# j. 水防体制の強化

## j1 水防資機材の備蓄等の確認

的確な水防活動が実施できるよう出水期前に水防倉庫内の資機材の備蓄状況について点検を行いました。

引き続き、水防資機材等の適切な配備に努めていきます。



点検状況(敦賀市)



点検状況(永平寺町)



点検状況(小浜市)



点検状況(あわら市)



# j. 水防体制の強化

## j2 水防団員や消防団員の募集の強化

水害から人命や財産を守る水防活動の担い手を確保するため、水防団員や消防団員の募集活動や広報を行いました。



ポスターによる消防団員募集(永平寺町)



ポスターによる消防団員募集(あわら町)

## j. 水防体制の強化

### j4 水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

関係市町において、消防職員、市町職員、住民による水防訓練を実施し、水防体制の強化を図った



敦賀市水防訓練(R3.6.5 95名参加)